

令和3年度《園評価・自己評価》 認定こども園 鈴ノ宮保育園

『たくましく生きる力を育む』を基に自ら考え判断する子・心身ともに健康な子・感謝と思いやりを持つ子・食べ物を大切にし、好き嫌いなく食べる子を目標に良識ある人間を育てる基礎づくりをしています。一人ひとりの育ちを大切にする教育・保育。年齢は同じであっても育ちは違い、そういった一人ひとりの育ちを大切にする教育・保育を実践しています。

○教育・保育について

新型コロナウイルス感染症が収束しないまま一年が始まり、引き続き感染症対策に留意しながらの教育・保育となりました。

前年度同様に、保護者の方の参加が少ない中で一年で、可視化を増やし少人数での保護者の方の参加など方法を考えて取り組み、子どもたちの成長を少しでもみて頂けたのではと思います。

特に、年長組はコロナ禍のなかでの2年間で行事の短縮・変更する中で、どうすれば楽しめるか話し合いし取り組んできました。最後になりましたが、卒園式での音楽会発表・遠足など今までと違う柔軟な対応が出来ました。

これからも、柔軟に対応しながら新しい事に挑戦出来る取り組みを大切にしていきたいです。

○小学校との連携について

今年度は小学校との交流は2回のみとなってしまいました。招待を受け子どもたちが小学校をスタートするのに、いい体験・経験をすることができました。

また、幼保小合同の研修会にも参加して直接話をする事ができ、今年度も小学校との連携をスムーズにすることができ良かったです。

○地域交流・子育て支援

地域交流は、中止になりました。地域の人も毎年楽しみにして頂いているハロウィンは、仮装し散歩をするだけでしたが地域の方と関わる場を持つ事ができ、楽しんで頂きました。

地域の方々にも楽しみな行事となり続けていきたいです。

園庭開放は戸外のみ利用で自由に遊んでもらえるようにしました。参加者は1~2組の参加者でした。来園しやすいような、取り組み方を計画していきたいです。

今年も、車のマナーに関するご意見を頂きました。保護者に周知し、繰り返し注意喚起をして理解していただくように努力していきます。

○ 保護者支援・子ども支援

支援が必要な子どもや家庭に対しても、園全体で対応することができ、進めることが出来ました。各機関の方にもご指導をいただき相談しながら進めていく事が出来ましたが、一人ひとりの保護者に寄り添う難しさを感じ、まだまだ勉強不足な面も多くみられました。

また、保護者と関わる中で頂いた意見は職員間で共有して対応し、話し合ってきました。

意見については、保護者によって受け取り方が違い対応が求められるので、保護者支援をする難しさを今年も実感する1年でした。

○ 職員の資質向上について

研修がオンラインで行う機会が増え、数多くの職員が参加できるようになり、より専門性を深められるようになりました。研修を受け、職員の勉強会・話し合い・情報の交換などの丁寧に取り組むことが出来ました。次年度は、専門委員を立ち上げ活動し保育に活かしていけるように、職員と一緒に取り組んでいきます。

○ 安全への取り組み・健康について

安全の取り組みで、消火避難・地震など月1回行っています。一度弱震ですが起こった時に、練習通りに行動をすることが出来ました。問題点も出てきました。一番安全な場所・放送の仕方などの反省を元に危機管理の細かな点の見直しをして、洗い出しをしていけたらと考えています。

健康については今年度も感染対策に取り組んでいましたが、休園することがありました。保護者の方々の協力とご理解のうえ、保育を再開することが出来、保護者・子どもたち一人ひとり丁寧に対応する事で拡大せず運営が出来ました。

コロナ禍の中でも柔軟に対応していくことや、職員の素早い対応・協力し乗り切ることができた一年でした。

今後の取り組む課題として、教育・保育内容を充実し子どもたちの発達に応じた環境保育を整えていくことや、マニュアルの見直しの検討、教育・保育の資質の向上に職員全体で取り組んでいきたいと思えます。

園長 中辻美紀